

令和5年度 愛媛クリニカルパス研究会 世話人会議事録

司会：代表世話人 四国がんセンター 羽藤 慎二

書記：愛媛医療センター 久保 好枝

日時：2023年8月24日（木）18:00～18:30

開催形式：オンライン開催（Zoom）

参加者：35名

| | |
|-------------|--------------------------|
| 松山赤十字病院 | 蔵原 晃一、佐々木 秀樹、宮内 春菜 |
| 愛媛県立中央病院 | 大谷 広美、吉山 広嗣、赤穂 静香、竹田 直弘 |
| 済生会今治病院 | 菅 紀明 |
| 住友別子病院 | 石橋 保枝、乗松 篤 |
| 済生会西条病院 | 石井 博、烏谷 力 |
| 愛媛大学医学部附属病院 | 松下 祐子、西田 慎太郎 |
| 愛媛医療センター | 久保 義一、久保 好枝、山下 由 |
| 市立宇和島病院 | 今井 良典、久米 理恵 |
| 十全総合病院 | 松尾 真嗣、高橋 美由紀、山戸 清志 |
| 西条中央病院 | 内藤 宏貴、中山 亜里美、越智 伸一、青木あゆみ |
| 愛媛県立新居浜病院 | 矢野真理 |
| 済生会松山病院 | 江田 義樹 |
| 松山市民病院 | 柚木 茂、梅岡 達生、川本 美加、魚見 直史 |
| 四国がんセンター | 羽藤 慎二、池辺 琴映、砂野 由紀 |

1. 世話人紹介 代表世話人 羽藤先生（資料1）
各施設の参加者より挨拶、自己紹介が行われた。
2. 令和4年度 愛媛クリニカルパス研究会の会計監査報告 済生会西条病院 石井先生（資料2）
済生会西条病院 石井先生、松山市民病院 柚木先生、四国がんセンター 羽藤先生の3名で監査を行い、石井先生より問題なかったことの会計監査報告が行われ、承認された。
3. 施設年会費の納入について 四国がんセンター 羽藤先生（資料3）
今年度の納付状況は別紙の通りである。研究会のために納付いただいている施設には大変感謝している。納付された会費は、研究会を有意義に活用するために使用させていただく。
4. 第18回 研究会のアンケート結果及び会計報告 四国がんセンター 羽藤先生（資料4）
研究会の申し込み人数は172名、アンケート回収107名
アンケートによる参加者の職種は看護師が最も多く、次に多いのは医師だった。勤務地域については中予38名、続いて南予が31名だった。オンラインのため北海道から九州まで遠方からの参加が

あった。講演内容や会の運営に関してよい評価を頂いた。

第 18 回クリニカルパス研究会の会計報告も行った。 *会計報告書参照

5. 第 19 回研究会開催について 愛媛医療センター 久保先生
8 月 26 日 (土) オンラインで開催する。一般演題 10 題、特別講演として若草第一病院 今田光一先生に「患者・家族・医療者のためのクリニカルパス」と題してご講演いただく予定になっている。有意義な研究会となるために、質疑応答など活発なご意見交換をお願いした。
6. 第 20 回研究会開催について 愛媛県立新居浜病院 矢野先生
次回の開催は 3 年ぶりに現地開催とし、開催場所については検討中である。決定したら連絡させていただくとともにご協力をお願いしたい。
7. 第 22 回以降の研究会当番世話人施設の検討について 四国がんセンター 羽藤先生 (資料 5)
資料の通り、第 20 回は愛媛県立新居浜病院、第 21 回は済生会西条病院と決定している。昨年の世話人会において、第 22 回以降は住友別子病院 (東予) と済生会松山病院 (中予) に検討をお願いしていた。先日までに、2 施設とも事務局へ了承の連絡を頂いた。第 20、21 回と東予地区での開催が続くため、第 22 回は中予地区の済生会松山病院、第 23 回を住友別子病院にお願いし、了解を頂いた。第 24 回以降については、愛媛大学附属病院、西条中央病院、松山市民病院の 3 施設を候補として、検討をお願いしたい。
8. その他【参考資料：前回議事録 (資料 6)】
 - ・愛媛県パス実務者の集い開催状況について 代表世話人 羽藤先生 (資料 7)
2018 年 2 月より、年 3 回程度活動を行っており、2020 年 10 月からはオンラインで開催している。これまでの活動状況について報告した。 *内容や参加状況については資料参照
 - ・日本クリニカルパス学会の開催案内 四国がんセンター 羽藤先生
第 23 回日本クリニカルパス学会は、11 月に埼玉で開催。
第 24 回日本クリニカルパス学会は、来年の 10 月に四国がんセンターが大会事務局となり、14 年ぶりに愛媛県での開催となった。多くの方に参加いただけるようご協力をお願いした。
愛媛県立中央病院 竹田様より、愛媛で開催であれば、当会も人的、金銭的な面で協力できることがあれば、協力したらどうかと意見があった。羽藤先生より、援助をいただけると大変助かるとのコメントあり。また、参加者より特に反対意見はなかった。今後、必要に応じて援助をお願いすることに決定した。

以上